

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 山口県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	山口市立大内小学校 第5学年 全4クラス 115名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 学活 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	・パラリンピックの歴史や意義等を学び、オリンピック・パラリンピックに対する理解を深めるとともに、障害を持った方と共生する社会を構築する態度を養う。
5 取組内容	<p>「I'm possible」を用いた授業展開</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>←DVD を用いての導入の様子。パラリンピック種目の実際の映像を鑑賞し、感想などを尋ねる。</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>パラリンピックに用いられる用具についてのクイズ。児童の興味関心を高める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>← 振り返りの場面。パラリンピックの歴史などを学んだ後、感想などを記入し、共生社会の構築に向けて意識付けを行う。</p> </div> </div>

<p>6 主な成果</p>	<p>以下、児童の感想から抜粋。</p> <p>「障害がある方も、スポーツを通して色々な楽しみ方をされていて、すごいなと思いました。」 4組女子</p> <p>「体のどこかが不自由であっても、道具や本人や周りの人の工夫によってできるようになり、楽しむことができるようになった。」 3組女子</p> <p>「パラリンピックは障害を持った方だけでなく、色々な方が楽しんでいてすごいなと思いました。」 1組男子</p> <p>「障害を持った方々に希望を与えるために、道具の工夫や、ガイドの方の工夫などがあることが分かりました」 2組男子</p> <p>以上の感想のように、授業を通して共生社会をともに構築していく意識が芽生えていることが見て取れた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>他学年においてオリンピックとの交流事業をしたり、図書室においてオリンピック・パラリンピック関連書籍コーナーの紹介をしたりするなどして、事前の興味関心を高めることにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>短絡的に障害を持っているのにすごい、という意識の児童もまだ存在するので、一歩踏み込んで自分たちも共生社会を創り上げる一員である「当事者意識」を育てていく必要を感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>内容としては、高学年のみだけでなく、中学年でも十分に理解し得る内容であったので、来年度以降、中学年での実施も視野に入れていきたいと考える。</p>